

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年09月10日

計画の名称	通学路等の生活空間における交通安全対策（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）									重点配分対象の該当	○			
交付対象	松山市													
計画の目標	通学路緊急合同点検に基づき策定した「松山市通学路交通安全プログラム」に位置づけられた通学路の交通安全対策を推進する。 「松山市自転車ネットワーク計画」に基づき、自転車の走行環境を整備する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,885	A	1,885	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R4末)	(R6末)
1	「松山市通学路交通安全プログラム」の推進			
	平成24年度及び平成29年度通学路合同点検に基づく対策完了率	92%	96%	100%
	最終目標年における対策完了箇所／当初現況年における対策完了箇所			
2	交通事故の減少			
	松山市の交通事故発生件数の縮減率	100%	89%	84%
	（最終目標年の交通事故発生件数／当初現況年の交通事故発生件数）×100			
3	安全で快適な歩行空間の創出			
	歩道の整備率	83%	95%	100%
	「松山市通学路交通安全プログラム」に基づき、新たに設置又は拡幅された歩道の整備率			
4	自転車走行環境の整備			
	自転車ネットワークの整備率	0%	100%	100%
	「松山市自転車ネットワーク計画」に基づき、新たに設置された道路の整備率			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村 道	交安	（他）宮前21号線 吉野 町	歩道整備 L=0.12km	松山市	■					24		－
	A01-002	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村 道	交安	（１）鮎屋町護国神社前 線	歩道整備・自転車レーン L= 0.38km	松山市	■	■	■	■		286		－
	A01-003	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村 道	交安	（１）河野五明線 河野 中須賀	歩道整備 L=0.22km	松山市	■	■	■			164		－
	A01-004	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村 道	交安	自転車ネットワーク整備 事業	路面表示 L=14.00km	松山市		■	■	■	■	100		－
	A01-005	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村 道	交安	市道南北38号線外84箇所	路面表示 85箇所	松山市		■				24		－
	A01-006	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村 道	交安	（２）久枝192号線 久万 ノ台	歩道整備 L=0.03km	松山市		■				11		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	松山市	直接	松山市	市町村 道	交安	（都）北条辻下難波線	歩道整備 L=0.62km	松山市				■	■	1,276		—
											小計						1,885		
											合計						1,885		

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事業策定主体にて評価を実施。

事後評価の実施時期

令和 8 年度

公表の方法

市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 通学路合同点検に基づく要対策箇所の対策や、通学路の歩道の整備を行うことで、通学路の交通安全対策を推進することができた。
- ・ 道路や歩道の整備により、交通事故発生件数の減少に繋がった。
- ・ 車道混在型の自転車レーンを設置し、自転車の走行環境の改善に繋がった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

令和 7 年度～令和 1 1 年度で本計画の第 2 期計画を策定しており、引き続き整備を進めている。第 2 期計画においても、通学路の交通安全対策や、自転車の走行環境の整備を進めていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	平成24年度及び平成29年度通学路合同点検に基づく対策完了率		
	最 終 目標値	100%	他の安全対策を含め、地元と協議中で未完了の箇所があるため（534件中1件のみ未完了）
	最 終 実績値	99%	
2	松山市の交通事故発生件数の縮減率		
	最 終 目標値	84%	道路や歩道の整備・警察の取り締まり強化等、複数の要因が重なり、目標以上に交通事故発生件数を縮減できた。
	最 終 実績値	66%	
3	歩道の整備率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
4	自転車ネットワークの整備率		
	最 終 目標値	100%	水利組合との合意形成が難航し、一部区間の整備が実施できなかったため。
	最 終 実績値	97%	